

# 東日本大震災特別委員会

2011.5.10.現在.

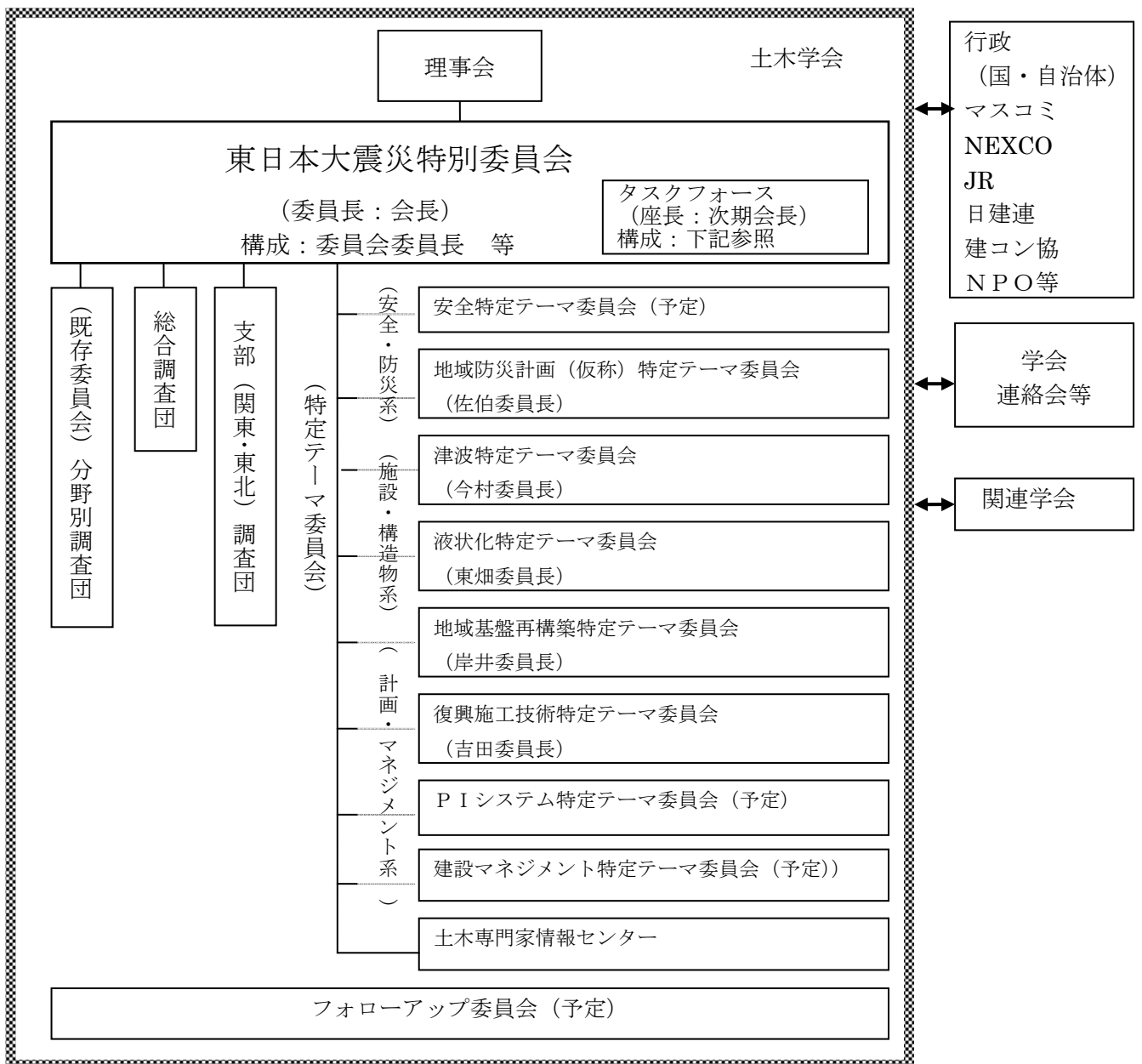
## 【特別委員会の概要と構成】

### 1. 設置趣旨

2011年3月11日午後2時46分頃発生した、マグニチュード9.0の地震とそれに伴う津波による未曾有の災害に関し、情報収集から成果の報告の段階まで、その間随時の提言を含めて土木学会としての貢献度を高めるため、土木学会関係者間の**問題意識、情報の共有と英知を結集**すること、並びに**関係機関と緊密に連携**することを目的として、会長を委員長とする「東日本大震災特別委員会」を設置する。とりわけ、初期の機動力を発揮するために、合わせて「特別委員会タスクフォース」を組織する。

特に今回の知見は、襲来が想定されている東海・東南海・南海地震、あるいは関東直下型地震等への対処方針にとっての重要なデータとなるものと認識している。

### 2. 構成概念



### 3. 東日本大震災特別委員会のミッション

- 1) 被災状況等に関する総合的学術調査の実施と成果のとりまとめ（従来の地震対策等（津波含む）の評価含む）
- 2) 緊急活動や地域復興に関する提言
- 3) 今後の大規模地震（津波含む）対策のあり方の検討
- 4) その他、他学会等との連絡調整

### 4. 委員構成

#### 1) 東日本大震災特別委員会

- 委員長：阪田憲次会長
- 委員： 委員会委員長 等（調整中）

#### 2) 特別委員会タスクフォース

- 座長： 山本 卓朗（次期会長）
- 委員（五十音順：4月4日現在）：  
家田 仁(国土、都市、交通)、今村文彦(水、津波)、金子雄一郎(社会資本マネジメント、交通)、  
岸井 隆幸(都市、交通)、菊池 喜昭(地盤)、桑原 雅夫（交通）、小長井 一男(耐震構造)、  
小俣新十郎(日本工営)、佐藤 慎司(海岸)、多々納 裕一(災害リスクマネジメント)、  
当麻 純一(原子力土木)、中井 祐(土木史)、羽藤 英二(都市生活、交通)、  
兵藤 哲朗(交通、物流)、福士 謙介(環境工学)、布施 孝志（地理情報）、  
古木 守靖(土木学会)、細田 暁（コンクリート、メンテナンス）堀 宗朗(地震工学)、  
丸山 久一(コンクリート)、目黒 公郎(都市防災)、森川 高行(土木計画、交通)  
吉田 明（大成建設(株)技術顧問)

### 【関連情報】

#### 1. 東北地方太平洋沖地震被害調査連絡会の設置

- 1) 日本地震工学会、土木学会、日本建築学会、地盤工学会、日本機械学会、日本地震学会の6学会で東北地方太平洋沖地震被害調査連絡会（以下、連絡会）を設置。適宜、構成員の拡充を図る。
  - 日本地震工学会：久保哲夫、東畑郁生、中埜良昭、嶋原毅
  - 土木学会：川島一彦、小長井一男、若松加寿江、古木守靖、片山功三
  - 日本建築学会：林康裕、平石久廣、腰原幹雄、真木康守
  - 地盤工学会：日下部治、安田進、戸塚弘
  - 日本機械学会：藤田聡、高田一、森下正樹、皆川佳祐、古屋治
  - 日本地震学会：平原和朗、岩田知孝、佐竹健治、田所敬一
- 2) 連絡会は事態がもう少し沈静化した段階で開催する。当面はメールで連絡し合う。
- 3) 被害情報を学会間で共有できるように、各学会でHPを立ち上げ、これを相互に引用することにより相互に見られるようにする。海外からのアクセスも可能なように工夫する。
- 4) 学術調査が可能となるのはある程度の時間が経ってから（2週間程度？）と考えられる。
- 5) 連絡会では、学術被害調査のほか、合同報告会、報告書、海外からの調査団への対応等に関して協力しあう。

#### 2. 「東北関東（東日本）大震災学協会連絡会」

土木学会、日本建築学会、地盤工学会、日本機械学会、日本地震工学会、日本地震学会、日本自然災害学会、地域安全学会、日本災害情報学会、日本都市計画学会、空気調和・衛生工学会、日本コンクリート工学会、廃棄物資源循環学会、日本地域経済学会、日本造園学会、農業農村工学会、日本水環境学会、日本水産学会、日本原子力学会、電気学会、地理情報システム学会の21学会で立ち上げ。3月28日にキックオフ会議を開催。